United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１３年４月～２０１４年３月

１．学校概要

学校名　**昭和女子大学附属昭和中学校・昭和高等学校**

種別　☐保育園・幼稚園　☐小学校　☐小中一貫教育
☐中学校　☐高等学校　☑**中高一貫教育**
☐教員養成　☐技術/職業教育
☐その他（　　）

住所　**〒１５４－８５３３　東京都世田谷区太子堂１－７－５７**

E-mail：info@jhs.swu.ac.jp

Website：http://jhs.swu.ac.jp/

児童生徒数：男子　　名　　女子　１３８７名　合計　１３８７名

児童・生徒の年齢　１３歳～１８歳

２．担当者　※公表しません

３．実施活動（複数選択可）

☐　地球規模の問題に対する国連システムの理解
☑　国際理解
☑　世界遺産
☑　平和・人権
☑　環境
☐　気候変動
☐　生物多様性
☐　エネルギー
☐　防災
☐　食育
☐　伝統文化
☐　そのほか（　　）

４．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について

①環境教育

■各教科カリキュラムにおいて環境教育について積極的に取り入れた。またそれが、教科横断的にホリスティックに展開するよう心掛けた。
■生徒会（保健部）を中心に、徹底的なゴミの分別と環境保全に努めた。
■生徒の意識向上のため、環境標語を作成した。
■第 4 回 ESD アシストプロジェクトで購入した落ち葉や生ゴミを堆肥に変えるためのコンポスト「ロータリーコンポスター」を設置した。堆肥を利用した植物の生育ができただけでなく、生徒の３R に対しての意識向上にもつながった。
■12 月に実施した海外研修旅行において、訪問各国（ベトナム・マレーシア・オーストラリア）の環境問題について考え、ベトナムではマングローブ林再生のために、植樹を行った。
■各種ボランティア清掃（校内・近隣・近隣公園等）に積極的に参加した。

②国際理解教育

■中学生徒全員に対する長期英語教育プロジェクト（本校では The Boston Mission と呼んでいる）を実行した。特に中学 2 年生全員が経験する現地研修では、現地生徒との交流を通し異文化理解に努めた。
■高校 1 年生を対象に行った（任意参加）プレ選択旅行のプログラムにおいては、各国（ベトナム・マレーシア・オーストラリア）の文化を体験し、その理解を深めた。
■高校生を対象に行った（任意参加）英国短期留学プログラムにおいては、ホームステイを中心に、異文化理解を深め、国際的な視野を広げる機会となった。
■本学園に併設されているブリティッシュスクールイン東京の生徒との交流機会が増加した。お互いの文化を知る機会として、お互いの国のｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨｰに参加する Inter National Day、英語劇の共同開催等日常的に海外文化を感じる環境が整った。
■留学生の受け入れを積極的に行った。（短期）

③他者理解教育

■中１～高２まで、学年ごとに 5 日間の研修学寮を実施。ボランティア活動や集団生活を通して、他者を理解する力、コミュニケーション能力の向上に向け、研鑽した。
■道徳の授業において、積極的にディベートを取り入れ、コミュニケーション能力の向上に努めた。
■次の機関等との連携を通し、ボランティア活動や募金活動を行った。
◇重症心身障害者施設「あけぼの学園」
◇「ホスピア三軒茶屋」
◇一般財団法人「民際センター」
◇「日本肢体不自由児協会」
◇「キャップの貯金箱推進ネットワーク」
■他者理解教育の一環として、次の方々に講演していただいた。
◇日本ユニセフ協会　高円宮承子先生
◇日本赤十字　　平井香名先生

④生徒への啓蒙

■個人研究「私の研究」では、研究テーマを全生徒が ESD の内容に合致したものから設定。年間を通しての研究においても、常に各自が課題発見、それを文献調査や実地調査等で解決していくという学習過程が確立している。

■校内 ESD 大賞を設定。16 作品が参加。
DVD『多摩川の環境を考える』（放送部作）が大賞に選ばれた。

⑤生徒個人の活動

■第 4 回 ESD 国際交流プログラムに参加（代表生徒）。
2014 年 3 月 22 日～3 月 29 日までドイツ・フランスを訪問。
ユネスコ本部でのプレゼンテーション（本校の ESD 活動について）を実施。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

☑ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
☑ 時間外活動の時間を使用
☐ ユネスコクラブの活動として実施
☐ その他（　　）